

暮らしの森

No.
31

佐久の森林と林業
2012年3月発行



林業機械で木から枝をはらい数mごとに切り分けているところを見学中

生まれ変わる森林

～暮らしの安心と木づかいのために～

●目次●

信州木づかいの家最前線	2
里山を復活させる森林整備	3
木の利用を進める森林整備へ	4
森林税事業紹介・放射性物質について	5
つながる森林、よみがえる森林	6
トピックス	7
野生鳥獣に負けない被害対策	8

「林業体験隊！」

「木育」という言葉を御存じでしょうか。いわば食育の林業版です。県では森林づくり県民税を活用し、この木育を推進しています。佐久管内では本年度、南佐久郡の小学生たちが実際に林業の現場に行き、迫力満点の伐倒シーン・林業機械・製材工場の見学、木椅子・単箱の木工体験をしました。

植栽や間伐など、苦勞して育てた森林を利用するのは、この子供たちの世代です。少しでも良い状態で引き継ぐと同時に、その子供たちが森林・林業に関心を持ち、今度は自分たちの手で森林を守り、子へと継承していく、まさに森が親と子、またその子をつなぐかけ橋となっていくのです。